

平成30年度 分科会施策の管理シート

分科会名	長寿サポート分科会	会長	多田 敦彦
------	-----------	----	-------

重点項目	「支える医療」の中核づくり	数値目標	【達成時期】平成30年度末 【目標値】カンファレンス実施率を68.4%に、カンファレンス医師参加率を38.5%に上	分科会事務局	長寿支援課
------	---------------	------	--	--------	-------

期 初(前年度末まで)	期 中(~9月)		期 末(~2月)・・・進捗・評価は見込で可		次年度へ		
	分科会事務局	分科会の意見	分科会事務局	分科会の評価			
【施策名・概要】 【実行する内容】 いつ、何を、どのように 等	選定した理由 どのような必要性に基づくのか 等	目指す成果 施策を実行した結果、どういった成果が現れる(水準、状態等を数値で)、その検証方法 等	施策の進捗状況	見直し、課題、助言等の内容	実績及び成果に係る自己評価 評価	達成度・成果について 評価	課題、進捗管理継続の要否等
1	地域包括支援センターと病院との連携強化 地域包括支援センター・サブセンターの配置人員を増強し、地域包括支援センター・サブセンターと府中市病院機構の地域医療連携室が連携・役割分担を行うことで、退院支援・在宅支援の強化、高齢者の総合相談窓口としての機能強化を図る。	地域包括支援センターや病院の地域医療連携室の業務が、医療・介護連携や認知症対応、退院支援など多岐にわたる対応が求められている。	医師、多職種・多機関が参加する退院調整・退院時カンファレンスを徹底。ルールを明確化し、府中市民病院・府中北市民病院の退院時カンファレンス実施率60%、カンファレンス医師参加率20%を目標とする。 指標は市が独自に集計を行う。				
2							
3							
4							
5							

- (注意事項)
- ① 重点項目ごとに、必ず管理シート1枚以内にまとめること(進捗管理する施策の選択等)。施策の選択の際は、重点項目の目標達成にどの程度貢献するのかも考慮すること。
 - ② 目指す成果の項目には、量的把握が可能なものは全て計量化・数値化することとし、不可能なものについても、望ましい状態や 結果、目標が達成された場合の状態等を具体的に明示すること。
 - ③ 達成度・成果の評価においては、施策の実行に当たってのプロセスも考慮し、総合的な視点から判断を行なうこと。評価の基準については、別紙の「施策の実績・盛夏に係る評価の基準」を参考にすること。
 - ④ 各施策の詳細(具体的な取組等)について、別に資料を添付しても良いこと。

特記事項	
------	--